

私の好きな
まちなかスポット

まちなかギャラリー 実動80日

銀座
商店街

角 省三

大正末期、東京高師卒の美術教諭 鈴木三五郎が彦根中学（現彦根東高校）へ赴任してきた。新しい時代の芸術文化に憧れていた彦根の中学生たちは、洋画の技法にだけでなく、「教育は心のふれ合いだ」とする鈴木先生に、大いなる刺激を受け、昭和期の彦根の町に文化人の幾人かが生まれるきっかけとなった。

彦根銀座のテーラー百々（どど）洋服店の二代目・百々松之助も「彦根中学以来一生の恩師は鈴木三五郎先生なり」—本人の日記より—として、平成19年、当ギャラリー開催中に98歳の生涯を終えるまで、商業の傍ら師の歩みの跡を追い続けたいわば万年門下生であった。



空き店舗となつて残されていた百々洋服店の明治期の木造瓦葺の建物を活用して、師匠鈴木三五郎（のち愛

知教育大学名誉教授・日展委嘱）と、その弟子百々松之助（市美術展審査員・公民館でお絵描き教室開催）の絵画作品を中心に陳列させて頂きました。

8ヶ月4期間のトータル・プランの中に、市民参加

型の企画「傘壽を超えてもまだまだ元気な・彦根の絵描きさん」と「ひこねのまちの色んなアーティストたち」を組み込み、国宝彦根城築城400年祭協賛の「まちなかギャラリー」ということで活動させて頂きました。



鈴木先生のご遺族三姉妹が遠方から来て頂き、市内の絵の先生やそのお弟子さんたち、それに、絵画を見るのが好きだという市民の皆様、ご近所の小学生から高齢者の人たちまで多数がご来館頂き、思いがけない新しい発見などもありました。

「大きな会場での絵画展よりゆっくりでき心癒される思い」と言われた年配の女性画家、「今、彦根城を見てきましたが、あれはほんものですね！感激してきましたよ！」と発言された、金の鯨で誇り高い筈の名古屋市民。

週末と祭日、臨時開館も含めての80日は、ご協力頂いた人たちを含め、さまざまな人たちとのステキな出逢いと、しびれるような感動を覚える一日一日でありました。

（彦根景観フォーラム会員、滋賀作家クラブ）

NPO 彦根景観フォーラムとは？

平成16年8月、市民・行政・大学・企業等によるNPO法人「彦根景観フォーラム」は設立されました。お互いの尊重と市民との共生、民主的な運営と情報公開を基本原則として、次の事業を展開しています。

○町歩き事業（星空映画祭、ぶらっと彦根、彦根あ

そび博） ○町屋実測調査・保全活動 ○彦根世界遺産シンポ、耐震フォーラムなど ○古民家活用事業（寺子屋「力石」、辻番所足軽屋敷、街の駅事業の支援） ○まちづくり情報誌「きらっと彦根」年4回発行、単行本：「彦根歴史散歩—過去から未来をつむぐ」、小冊子：「世界の城下町彦根をめざして」、「町家に住む」、「100年前に描かれた彦根」を刊行。

話し合う夢から始まる・まちづくり 彦根景観フォーラム 会員募集中

教員や学生、建築家、主婦、会社員、市民、商店主、公務員など、いろんな人と知恵が集まります。

- 定例会 毎月第2水曜日午後7時～9時 滋賀大学陵水会館 誰でも参加できます。
- 彦根景観フォーラム事務局 TEL 080-1416-5968/0749-27-1141 FAX 0749-27-1431

ブログ：<http://hikonekeik.exblog.jp>

e-mail: hikonekeikan@hotmail.com



きらっと彦根 vol. 12

彦根の魅力★再発見

彦根まちづくり誌 2008年 4月10日 通巻12号 編集/発行 NPO法人 彦根景観フォーラム

■辻番所をもつ足軽屋敷を守ろう

トラスト募金が目標の半額達成

昨年12月1日、『彦根古民家再生トラスト』が発足しました。現在、売りに出されている「辻番所をもつ足軽組屋敷」を買い取る、そのために、一千万円の募金を集める、という運動を展開中です。

3月15日現在、550万円の募金が集まっています。多くの人にご寄付をいただき、本当にありがとうございました。ひきつづき、一段のご寄付へのご協力をお願いします。

なお、これに呼応して彦根市は12月議会で「文化財保護基金」の設立を決定しました。歴史建造物の保全と活用にとって朗報です。ただ、この基金は、交付基準も決まっておらず、すぐには辻番所の買い取りに使えるものではないようです。

ぜひ、目標の1千万円をめざして一層のご協力をお願いします。寄付口座は以下のとおりです。

- 振込先 彦根景観フォーラム(0749-27-1141)
- 滋賀銀行彦根支店 普通 267886
- 滋賀中央信用金庫彦根営業部 普通 0623881
- お問い合わせは 彦根景観フォーラムまで



それぞれの彦根物語

「彦根城築城400年祭」特集

彦根景観フォーラムでは、ひこね街の駅「寺子屋力石」(彦根市花しょうぶ通り)で、土曜の午前10時30分から12時まで《談話室・それぞれの彦根物語》を開いています。今回の特集では、400年祭で活躍した市民の皆さんの楽しい活動を振り返ります。

【彦根物語 43】 平成20年4月19日(土)

「佐和山一夜城復元プロジェクト」

和田一繁氏(彦根商工会議所青年部会長)

【彦根物語 44】 平成20年4月26日(土)

「ペロタクシー 町の風景になじむ移動手段」

齋藤 毅氏(五環生活 自転車タクシー事業部)

【彦根物語 45】 平成20年5月17日(土)

「彦根に素晴らしいものがありました」

安達 昇(彦根商工会議所 中小企業相談所 次長)

【彦根物語 46】 平成20年5月31日(土)

「彦根の地場産業(ファンデーション)について」

坂下 弘徳(京都産業大学大学院生)

どなたでも参加できます。お楽しみに。

城下町ひこね「戦国商店街」宣言 「いしだみつにゃん」おひろめ

佐和山城と彦根城、2つの名城に囲まれた日本一の城下町・ひこねで、歴史まちづくりの第1歩ともいべき「戦国商店街」宣言が行われました。

3月16日(日)ひこね街の駅第2の拠点「戦国丸」(花しょうぶ通り)で開城式が行われ、同時に戦国の街をテーマとした戦国商店街づくり宣言と、新キャラクター「いしだみつにゃん」のおひろめが行われました。



シンポジウム

足軽屋敷と辻番所

そして芹橋地区の未来と彦根

● 世界遺産と

彦根のまちづくり

彦根市世界遺産懇話会報告

● 私の好きなまちなかスポット

まちなかギャラリー実動80日

● NPO彦根景観フォーラムとは?